

未来の車のための問題集

人の天職を応援する車づくり
のための16の質問
～CASE時代を超えて～

IDEA BOOK
アイデア ブック



「100年に1度の大変革期」といわれる自動車業界。
その背景にある現象を一語で示すのが「CASE」です。
「CASE」とは「Connected (コネクテッド)」「Autonomous (自動運転)」「Shared (シェアリング)」「Electric (電動化)」
社会や技術変化の潮流を4つの文字でうまく表現しています。

この流れに逆らうことはもはやできません。
でも、この4つの文字だけでは何か大事なものが
抜け落ちてしまうのではないのでしょうか。

大事なものを思い出すために、16の質問を載せた問題集をつくりました。
問いかけの視点となるキーワードは「LOVE」です。「LOVE」とは
「Local Creation (地方創生)」「Opportunity Development (機会開発)」「Vocation Support (天職支援)」「En (因縁無量)」

車は性能、外装、内装のみをよくしてきましたが、
中身の進化がなされてこなかったのが今日の結果を生んでいます。

車は単なる「箱」なのか。
人生100年時代に人と車がパートナーとなるために何が必要なのか。
この問題集がそれを考えるきっかけとなれば幸いです。

作者プロフィール

川尻一平

福知山公立大学
地域経営学部地域経営学科4年

福岡県北九州市出身。幼いころから野球少年で、長崎の創成館高校へ野球留学。大学のゼミでは「農家民宿 AtoZ」「福知山マラソン AtoZ」「千原兄弟 AtoZ」などの AtoZ ミニブックシリーズ、また「地域資源から新しいアイデアを生み出す問題集【福知山編】」を制作。春からは福岡トヨタに入社予定。

発行日：2019年2月1日

著者：川尻一平（福知山公立大学地域経営学部地域経営学科4年）

発行：福知山公立大学地域経営学部地域経営学科
塩見直紀研究室（特任准教授 090-6249-6539）
620-0886 京都府福知山市字堀 3370 福知山公立大学内
0773-24-7100 <http://www.fukuchiyama.ac.jp>

Q1

今後、国内での自動車販売数を再び増加させるために必要なのは、「よりよい車の開発」ではなく、「車が提供できる価値の再定義」(※)。※ちきりん『マーケット感覚を身につけよう』ダイヤモンド社

あなたならどう価値を再定義する？

1

2

3

Q2

ソフトバンクの孫正義さんは約20年前、
トヨタに事業提案をしたという。
どんな提案だったと想像する？

1

2

3

Q3

車は外装と内装はすてきにしたいけど、
中身がなかった。
車の中身にイノベーションの余地はない？

1

2

3

Q4

『カスタマーサクセス』の時代。
「ドライバーサクセス」とは？

1

2

3

Q5

どんどん旅に連れだし、
新しいものに触れさせ、
鼓舞してくれる車はつukれない？

1

2

3

Q 6

遠出したとき、たまたま通った道の近くに、昔行ってみたいと思っていたカフェやレストラン、美術館があることを知らせられない？

1

2

3

Q7

通りすがりの町の美術館やギャラリーの 展覧会などのアート情報を 車が教えてくれたりできない？

(岡崎大輔著『なぜ、世界のエリートはどんなに忙しくても美術館に行くのか?』からの発想)

1

2

3

Q 8

生涯学習時代に、
車は何ができる？何をすべき？

1

2

3

Q9

移動時間を語学練習や講演録聴講などの時間に。音声コンテンツ市場と車、もっと融合できない？

1

2

3

Q 10

人生100年時代、車は何ができる？

1

2

3

Q 11

災害時、大きな価値を生むトヨタの「通れた道マップ」のようなことは他にできない？

1

2

3

Q 12

地方創生に、車が応援できることは？

1

2

3

Q 13

民俗学者の宮本常一は旅先、フィールドワーク先にギフトを遺していった。通りすがりの知らないまちが困っていることを応援できたりしない？

1

2

3

Q14

自動運転やシェアの分野以外で、
あなたが今後、乗りたい理想の車とは？

1

2

3

Q 15

AI時代に大事になるのは、インスピレーションが与えられるか、また得られるかということ。車は人にどんなインスピレーションを与えられる？

1

2

3

Q 16

■ 持ち主のX(天職)を車がさらに
応援してくれるようになるには？

1

2

3
